



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第218号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2014年1月9日発行

編集・発行：情報委員会

気軽に交流を楽しむクラブ

2013～14年度 テーマ ー優れた運営の仕組みを継承し、会員活動をより楽しくしようー



明けましておめでとうございます

第 218 回例会

日 時:平成 25 年 12 月 12 日 (木) 12:30～14:40

場 所:エルシイ

出席者:65 名 出席率 91.5 パーセント

(会員総数 71 名 休会 0 名)

会食とハッピーコイン披露

戸田例会委員長の合図で会食を始め、会食中に土井俊玄副会長からハッピーコイン(後掲)の披露があった。例会に先立ち本年度第2回臨時総会が開催された。

第 2 回臨時総会

1 開会 戸田例会委員長

上記出席率と資料の確認

2 議長選出

恒例により会長を議長に選出。書記に寺田会員が、議事録署名人に小林時雄会員と山形会員が選出された。

3 議案と結果

第 1 号議案 第 18 回生涯学習サロン特別会計予算書(案)承認の件 ; 内山地域奉仕委員長が説明。可決承認された。

第 2 号議案 委員会名の改定および 2 委員会新設の件

第 3 号議案 「会則」および「運用細則」の一部改定の件

の 2 議案が一括提案され、竹内副幹事の説明後、質疑応答がなされたが、会員間の認識の違いが大きく議論が不十分であるため、議長発言で、審議未了、後日再提案となった。(別途議事録あり)

第 218 回例会(続き)

1 挨拶 荒会長



11 月の例会(野外研修)に於いて、クラブ創立 20 周年記念事業に関する座談会を開催させて頂くことをお知らせしました。

その結果、

期 日 平成 25 年 11 月 15 日 9:30～11:00

場 所 興岳寺会議室

出席者 直近の会長・副会長:下山邦夫、杉山友一、佐々木研吾、吉田信夫、荒正勝、土井俊玄、直近の幹事:塩沢迪夫、矢崎安弘、馬場征彦、(敬称略)により開催致しました。

クラブ創立 20 周年記念事業を企画するというお目出度い会でしたので、フリートーキングで、15 周年や 10 周年の記念事業を想起しながら次のような事項をまとめました。

合意事項

1 クラブ創立 20 周年記念事業を行う。

2 期日は平成 27 年 10 月 18 日(日曜日)を予定日とする。

3 場所は八王子市内の文化施設等で。

4 主な事業は、クラブ創立 20 周年記念式典と記念演奏会の開催。

5 上記事項に関して、調査、研究を開始し今年度に準備すべき事項をまとめ、準備を開始する。

当月の報告事項は上記の通りですが、この記念事業の進め方や会員各位にご協力をお願いすべき事項など、現在の理事会で勉強しながら、次年度の理事会に引継ぎ、その次の年度の理事会が記念事業を滞りなく開催して頂けるよう、研究していく所存です。

2 パースデーカード贈呈



今月の池田会員手作りのパースデーカードは、先月が野外での例会だったため、11 月生まれの方々（敬称略・写真左から）山崎、増田、東山、渋谷、杉山、田中美代子の 6 名と、12 月生まれの方々（敬称略・写真左から）宮城、飯田、荒の 3 名の総勢 9 名の方々に荒会長より贈呈された。

3 卓話「わが国の国際貢献(ODA)について」

山口三郎

国際貢献や ODA（政府開発援助）と言ったテーマについては様々な角度からの切り口があり、そのアプローチは多岐に亘りますが以下についてお話いたしたいと思います。



(1)なぜ日本は開発途上国を援助するのでしょうか？
いろんな視点がありますが、まず第一には

・純粹に人道的な側面

世界の人口は 2011 年には 70 億人を突破し増加の一途をたどっていますが、もしも地球に暮らす人を 100 人だとしたらと事例で考えると、

開発途上国で暮らす人——80 人(約 52 億人)
1 日 2 ドル以下の貧しい生活を送っている人
——40 人(約 26 億人)

安全な飲料水が得られない人 17 人(約 11 億人)

5 歳まで生きられない人——8 人(約 5 億人)

十分な栄養を取れない人——17 人(約 11 億人)

電気が使えない人——5 人(約 16 億人)

読み書きができない人——18 人(約 12 億人)

こうした人たちに手を差し伸べるのは当然と言った考え方。

・世界に依存する日本

生活や産業に欠かせないエネルギーの 8 割は海外からの輸入。食糧の自給率も 40%を切り、日本の世界各国への依存率は極めて高い。

・途上国の問題は世界の問題

途上国の問題は途上国だけに留まらない、すぐに世界に跳ね返る。まさに自国だけの平和を追求する「一国平和主義」は通用しない。

・援助を受けて発展した日本

ガリオア基金、エロア資金（20 億ドル）の提供を受け、その資金の 6 割は小麦と米の輸入に割り当てられた。戦後復興のための資金を世界銀行から 8 億 6,300 万ドル借り入れ、複数の火力発電所、黒部第四ダム、東海道新幹線、東名・名神高速道路等インフラを建設。完済したのは遠い昔の話ではなく、1990 年の 7 月のことであった。

・世界の中の日本の役割

日本は世界の中の経済大国として我々が想像する以上に大変な役割を担っている。日本が世界の諸問題に対して取り組んでいくことは責務であると同時に、そのことが日本の平和と繁栄に繋がっている。

(2) 戦略的な ODA の展開

最近では東南アジアやアフリカを中心にインフラ整備に関する協力案件が良く見られる。例えばインドの鉄道開発、ミャンマーでの石炭火力発電事業、ベトナムでの港湾開発、またインドネシアやフィリピンでの都市開発等々です。アフリカでは資源開発案件も出ています。これらは従来の技術協力に円借款や無償資金協力を加えた産官学一体となったオールジャパンでの協力で、まさに戦略的な ODA の展開と言えるでしょう。

具体的な技術協力の事例を紹介すると

・シンガポール、インドネシア、ブラジルサンパウロ等への日本の交番制度の定着

何れの国も現地語で KOBAN (交番) となっており、シンガポールやインドネシア、ブラジルのサンパウロなどが特に有名。

・南米チリのサケ養殖センター (ノルウェーと並んで日本への最大の輸出国となった我が国の技術協力)

サケを川に戻さず人工的に育てる海面養殖に方向転換し、多大の年月を経て苦労の末養殖に成功し現在に至っている。今やチリのサケ養殖業は世界で 1, 2 位を争うまでに成長。

・日本・セネガル職業訓練センター (従来型とは違って、プロジェクトの実施前にセネガル人技術者を本邦にて徹底して日本語研修)

無償資金と技術協力が連携した典型的な案件。1984 年から協力開始、現在もフェーズを替えて協力中。一番のネックはフランス語で電気、電子、自動車整備と言った職業訓練分野で教えることができる専門家が皆無に近いことだった。その為にこの逆の方法をとったのがこのセネガル方式である。セネガル人のインストラクターを本邦にて受け入れ、徹底的な日本語教育を行い日本語で技術移転を行うといった画期的なやり方である。今や同センターは西アフリカでフランス語圏を代表するセンターとなり、地域の職業訓練分野での拠点国となっている。

・メキシコ地震防災センター (南南協力、第三国研修の有効性)

アステカ王国時代の首都であった水上都市、メキシコシティはスペインに征服され、埋立地に建

設された都市である。そのため、もともと地盤が弱く 1985 年 9 月の地震で大変な被害を被った。日本の地震防災 (特に耐震技術) 対策に対する強い協力要請もあり、7 年間の協力を行った。日本がメキシコへの技術移転を完了したあと、今度はメキシコ自身がホストカントリーとなって近隣諸国への技術移転を行うといったやり方を南南協力の一環としての第三国研修と呼ぶ。南半球が南に協力すると言った意味。この方式のメリットは文化、言語、気候ほか共通点を多く持ち、資金的にも軽減出来ることから我が国の有効な技術協力方式となっており国連からの評価も高い。

・日伯によるアフリカモザンビークへの三角協力—農業生産を支援 (不毛の湿地地帯、セラード開発の経験を経て日系人の活用・連携)

首都ブラジリアー帯からアマゾン川にかけての 2 億 ha におよぶ広大な大地は日本の 5 倍、ブラジル大地の 24% を占める。

1980 年代初頭から 21 年間の協力。酸性土壌の中和による改良、灌漑の整備、115 人の農業専門家の派遣により大豆の生産量は 7, 800 万トン、世界生産量の 28% を占めるに至っており大変な成果をもたらした。この開発の経験を背景に日伯双方の協力のもとモザンビークの農業開発に三角協力を実施中。特筆すべきはブラジル日系人との連携である。因みにブラジル、モザンビークともポルトガル語が母国語であり、非常にスムーズな技術移転が進んでいる。これも世界に誇る我が国の技術協力の成果と言える。

(3) 最後に

我が国の ODA はそのプレゼンスや外交政策にとって非常に重要なツールの一つであると思うが残念ながらその予算は 1997 年以降減少の一途をたどっている。ODA 予算の減少に歯止めをかけるとともに、世界の中で日本としてのふさわしい役割を果たしていくことを切に願っている。

それからもう一つ。2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生したときの海外から受けた援助を忘れることはできません。160 カ国、45 の機関から支援金の援助や緊急援助隊の派遣を受けた。この時こそお返しをと、なけなしのお金をはたいた貧困国から多数の支援があった話は有名。

4 委員会活動報告

(1) 会員委員会 荻島委員長

平成 25 年 12 月現在の会員の平均年齢は 76 歳、最低年齢は 64 歳、最高年齢は 86 歳です。

(2) 地域奉仕委員会 内山委員長

生涯学習サロンへの一般会員勧誘のお願いがあります。昨年受講された方々には 1 月にサロンへのお誘いのご案内をお送りします。毎年参加して下さる方々を大切にすることはもちろんですが、活性化のためには新規に加わって下さる方々が必要です。そこで会員のお知り合いの方々に声をかけて頂き資料をお渡し頂きたいと思い、アンケート「一般サロン会員勧誘のお願い」を皆様に配布しました。ご協力よろしくお願い致します。会員の生涯学習サロン希望テーマは 1 月例会までに提出して頂きたい。

(3) 研修委員会 河合委員長

11 月 14 日の野外研修は、好天に恵まれ内容のある研修が出来たと思います。ご協力ありがとうございました。内容につきましては本日の 217 号プロバスだよりに石田文彦会員のレポートが掲載されていますのでご覧ください。参加された方々には写真を文書箱に入れておきました。

(4) 情報委員会 田中委員長

お手元にプロバスだより 217 号をお届けしました。今月は石田文彦会員の編集によるものです。ホームページにつきまして今まで矢崎会員に皆様方との窓口の役割をさせていただいておりましたが、都合で寺田副委員長に替わります。

(5) 宇宙の学校 下山運営本部長

11 月 16 日の八王子北高校で最後のスクーリングを終え、今年度の行事はすべて無事終わりました。北高校会場ではテクニカルスタッフとして同校の生物科学部の部員達が務めてくれ、それに対して東京都職員互助会教育振興事業として「ふれあい感謝 21」が贈られました。「宇宙の学校」が評価されたということでご報告致します。

(6) 交流担当 立川会員(全日本プロバス協議会会長代行)

2 点ばかりお願いと報告を致します。

① 先月のバス中の

217 回例会で、馬場幹事からご報告頂きま



したが、加藤武会長が 11 月 6 日に急逝されました。北九州、西日本、東日本担当の副会長と幹事長との話し合いで規約に則りまして、私

が来年の 11 月の総会まで全日本プロバス協議会の会長代行をいたすことになりました。今までも皆さんにご協力を頂いておりますが、その上にもうひとつご協力をよろしくお願い致します。

② お手元に関東ブロック交流会のご案内を差し上げました。現在新潟から 10 名、多摩から 22 名、遠く九州からも神戸からも複数でお申し込み頂いております。当クラブがホストクラブになりますので、是非一人でも多くの方々にご参加を頂き交流をはかって頂くようお願い致します。

浅川交流担当理事

ただいまお話がありましたように、2 月 3 日関東地区の交流会を八王子で実施する、というふうに連絡しましたところ、日本中のプロバスクラブから八王子で行うなら是非参加したいという反応が現在沢山出ております。八王子がいかにか活躍しているかということ交流会で皆様がひとつの輪になって伝えて頂きたいと思っておりますので、2 月 3 日の交流会はクラブ員全員でお迎えしていただきたいと思っております。是非よろしくお願い致します。

5 同好会活動報告

(1) 美術鑑賞 池田会員

お配りしてありますが 12 月 25 日「八王子の美術館めぐりその 2」として富士美術館「印象派展」のお誘いです。印象派マネ、セザンヌ、モネなど私たちの耳に親しい画家の作品が展示されています。地元で鑑賞できる貴重な機会です。どうぞお誘い合わせてご参加ください。

(2) お茶の会 (投稿原稿) 竹内会員

毎例会日に、池田会員手作りの「バースデーカード」が贈られています。今年 10 月で 5 周年となりました。毎回各会員あてのメッセージを記したカード作成をお願いしている池田会員に、クラブから記念品が贈られました。

高取和郎会員作成、三島手水指「銘 曙」阿部

治子先生の命名筆。皆様方のいやさかをお祈りしての命名といたしました。10月例会に「曙」で池田会員のお点前を一服頂きました。



6 その他

(1) 阿部治子会員



私は「東阿部流煎茶」に所属しております、「ひととき煎茶の世界へ」と題してプロバスの生涯学習サ

ロンで茶会をさせていただきました。このことを東阿部流家元が採り上げて下さりまして、「翠松」という機関誌に1ページ割いて写真入りで掲載して頂きました。そしてプロバスとはということを家元が書き添えて下さりまして、全国16支部の3,500人の会員の手に渡りました。支部の皆さんにお目にかかるとう大きな奉仕と活動をなさっていますね」と言う声がかかります。皆様のおかげで東阿部流に於いて八王子プロバスの活動が知れ渡ることができて感謝しています。ありがとうございました。

(2) 東山会員

情報委員の取材担当からお願いです。原稿が少なくなりましたので、今日お願いの文書を差し上げた方は是非よろしくお願い致します。

7 プロバスソング斉唱



8 閉会の挨拶 土井俊玄副会長

皆さん本日も大変ご苦勞様でございました。臨時総会におきまして残念ながら審議未了となりました。しかしながらこれも前向きに発展するひとつの機会ととらえていただければ大変大きな勉強になったのではないかと思います。先程立川会員、浅川会員からもお願いがありました関東ブロック交流会は我が八王子プロバスクラブがホスト役を務めるわけでありますので是非大勢の会員の皆様の参加をお願い致します。本日は意義のある例会であったと思います。



◆平成27年初春、東京～金沢新幹線が開業されます。この度、石川県観光特使を委嘱されました。3年間にわたり「加賀百万石」のPRに務めることになりました。 竹内賢治

◆明日13日より10日間トルコ周遊の旅を楽しめます。 野口浩平

◆今年は書で毎日新聞社賞、社会貢献で大臣賞、税務行政貢献で東京国税局長賞、年をとってもほめられることはうれしいものです。 鈴木弘昭

◆本日の臨時総会の平穩無事を記念してハッピーコインを投じます。 荒 正勝

◆11月16・17日の第34回いちょう祭りでは、有志の会員の皆様から受付・案内のご協力をいただいたほか、多数の方々がご来場くださり、まことに有難うございました。幸い両日も快晴に恵まれ延べ50万人を越える過去最高の人出となりました。 佐々木研吾

◆肺血栓のため3ヶ月休ませていただきましたが回復に向かいましたので今月から復帰いたします。大変ご迷惑おかけいたしました。特に例会委員長様にお礼申し上げます。 橋本晴重郎

◆①なんと先月金婚式を終えました。

②「宇宙の学校」今年度が終わりました。北高校へ都関係から、感謝状頂戴。 下山邦夫

◆魂消た。麻雀で前人未到の四連覇。そこで一句「四連勝小春日和の麻雀会」。これ俳句になりますか、河合先生。でも麻雀は腕ではなく十中八九ツキです。自省 東山 榮

◆①シニア・ダンディーズが八王子市議場コンサートに出演しました。テレメディアにも映ってありましたし次の広報にも出ます。東京八王子プロバスクラブを大いに宣伝出来たと思います。

②シニア・ダンディーズが議場コンサートの後、老人ホーム「櫛の里」に慰問演奏に行き演奏したりホームの人達と歌いました。地域への奉仕活動は今後も続けます。櫛の里ホームページにアップされています。

立川富美代

◆議場コンサートに出演しました。ラッキーです。

塩澤迪夫

◆生涯学習で、プロバス茶の会で「煎茶のたのしみ」が東阿部流家元翠松会報に載せていただきました。全国支部3,500人の会員のもとに届けられました。

阿部治子

◆先日友人御夫妻と山形の酒田へ旅して来ました。まだ紅葉には少し早い時でしたが最上川船下りを楽しんできました。

高取和郎

◆年内余白無く、1年間の平穩無事に感謝して！！

杉山友一

◆プロバスに入会させていただき、満7年経過。時の流れの早さに驚かされるとともにプロバスならではの諸体験に感謝！！

土井俊雄

◆笑うことは最も簡単な成功法といわれるが、笑顔で心をかけているうちに自分の心までときほぐされる。皆さんと共に良い年であった今年。楽しかったで～す。

宮城安子

◆①元気なうちにと昨年計画していた海外旅行中です。荒会長と竹内副幹事に甘えさせて頂き感謝しています。

②10月24日の第2回「3プロバス合同ゴルフコンペ」で何と優勝！新ペリアなのでラッキーの重なりのおかげですが、ハッピー。

馬場征彦



投稿

「読書の楽しみ」

土井俊雄



硬い本の合間に読む時代小説や歴史小説は、時間を忘れさせる。例えば池波正太郎の描く、押し込み強盗では狙った商家に下女や下男を永いこと住み込ませ内部をすっかり調べて、その情報を同じように彼らが買

いとった商家とか居酒屋を秘密の会合場所に仕立てて報告する。首領が出ず決行日に押し込みの手引きをする。多分に映画やテレビの影響と思われるが、本文の文章が情景として浮かんでくると、ぞくぞくするのを禁じ得ない。

特に火つけ盗賊改めの長谷川平蔵の緻密で勘どころの鋭い捜査活動と部下への接し方は、緊張すると同時に痛快である。

同じ時代小説でも、藤澤周平の一連の小説は、市井の民の人情の機微に触れる描写が素晴らしく、武家社会の中であって、庶民の生活には、ほろりとさせるところが読む人々を魅了しているのだろう。

ちなみに、時代小説のベストファイブをネットで調べたら1位杉本章子「おすず信太郎人情始末帖」、2位杉本苑子「孤愁の岸」、3位高橋義夫「ご隠居忍法」、4位多岐川恭「ゆっくり雨太郎捕物控」、5位竹田真砂子「牛込ご門余時」。

歴史小説では、1位葉室麟「秋月記」、2位半村良「すべて辛抱」、3位火坂雅志「天地人」、4位平岩弓枝「御宿かわせみ」、5位藤澤周平「漆の実のみのる国」とあった。

今まで、時代小説とか歴史小説といったジャンルについてあまり考えずに読んでいたが、広辞苑によると、時代小説とは、古い時代の事件や人物に題材をとった通俗小説。

歴史小説とは、過去の時代を舞台にとり、もっぱらその時代の様相を描こうとする小説。島崎藤村の「夜明け前」など・・・と記述されている。

時代・歴史小説は、どうしても好きになれなく

て推理小説や恋愛小説・冒険小説のほうがずっと面白いといわれる方も多くおられる。その理由の一つに描く作家によっては世相が暗く描かれているとか、当時の時代背景である体制（社会・経済・文化等々）になじめないといったことがあるようだ。いっぽう恋愛・推理小説を書いている作家や、時代小説の作家の多くが、晩年に近づくと畢生の歴史小説を書きたいという願望が出てくるといわれる。わが身を主人公に託して心の内を何か訴えたいのであろうか。中国の史記のように歴代王朝が書かせたものでなく、作家が苦勞して調べ上げた古文書や当時の資料に基づき、読者の興味を加味しながら書いていることを思うと、もっとももっと読んで楽しまねばと思う。時代・歴史小説を読んでいると、旗本・御家人などの出てくる小説では生活の実態（特に家計の収支）がよく見えてこない。そんな折、磯田道史の著書で「武士の家計簿」新潮新書を見つけ読んでみた。加賀百万石の算盤係（会計）の猪山家の話だ。猪山家は前田家の直参ではなく、陪臣であった。当時の俸禄は知行70石+切米40俵（天保13年）合計した現在の金額では、年収で実質250万円、家長と扶養家族3人それに召使2名計6名の所得としては低いと言わざるを得ない。しかも暮らしに必要なのは、金銀貨幣であるが金銀貨はすこぶる僅かで、支給の大半は米で、しかも切り米と言って春は四分一、夏に四分一、冬に四分二の3回にわたって支給された。止む無くこれを売って換金した。（三季切米＝三季に分け支給）江戸時代の武士の給禄制度には、「欠陥」があった。一番の問題は、現在の職務内容とは、あまり関係のないところで禄高が決まっていることであった。武士の家禄は「家柄がよい」とか「昔先祖がこんな勲功をたてた」ということで給料の額が決まっていたのである。現状は給料にあまり影響しない、今忙しく仕事をしていても、経費がかかる職務についても、お構いなしである。「役料」「役高」という制度があって、一応このところはフォローされている面もあるが全体としてみると、とても現在の役職に応じた給与支払いがなされているとはいえない。幼児でも国家老の家柄ならば、数万石の家禄を与えられるのである。このような制度の中で猪山家

の財政を逼迫させた要因の中に「武士の身分費用」が一因になっていた。江戸時代の初め、17世紀ごろまでは、武士身分であることの収入（身分収入）のほうが武士身分であることによって生じる費用（身分費用）よりも、はるかに大きかったと言える。武士の俸禄は多かつたし、身分による行動制限は少なく、金融行為の規制なども緩やかだった。ただ家来は身分費用（親せき付き合い、雇い入れている使用人の人件費や身分にそった付き合い・冠婚葬祭）が多かつた。ところが幕末になってくると、武士身分の俸禄が減らされて身分収入が半減する。しかし武士身分であるために支払わなければならない身分費用はそれほど減らない。そのため猪山家では、多大な借金をするが、あまりに借金が多かつたので、天保13年（1842年）「借金整理」を決意する。当主直之と兄の信之の書籍（唐詩選・四書正解等）、什器備品、茶道具、衣類、妻及び母の衣類等現在の金額に換算し1,025万円を手に入れ、返済に充てる。この返済に不退転の決意をしたことが、猪山家が借金をしている商家や親戚等に好感を与えた。しかし、なお残っている借金は、両替屋や商家が、4割返済で承諾してくれた。武士の身分費用（支出）の中でも親戚との儀礼付き合いは最も金がかかるといわれ婚礼・葬儀、武家の通過儀礼費用（鎮守の祭り、正月、妻の着帯、髪直等）、寺へのお布施（同格の武家の平均が年間18万円）家来と下女の人件費等々出費の多い中で当主の小遣いは月5,000円と気の毒な状況であった。それにしても時代・歴史小説から江戸時代の武家社会の一端をのぞこうという設定は、小説からは何も得られず、「武士の家計簿」に助けられた。

参考図書ほか

○藤澤周平

「市塵」、「時雨のあと」、「隠し剣」、「蟬しぐれ」、「白き瓶（小説長塚節）」ほか

○池波正太郎

短編小説シリーズ（上・下）「密告」、「追跡」ほか

○磯田道史「武士の家計簿」

○中村豊秀「幕末武士の失業と再就職」

○ネット「ウィキペディア」

シニア・ダンディーズ

「議場コンサート」に出演



八王子市議会では、各定例会（年4回）の初日に議場で20分程度のコンサートを開催していますが、シニア・ダンディーズは去る平成25年11月29日、これに出演しました。午前9時30分からの20分弱で「八王子市歌」や「花は咲く」等5曲を歌い、平均年齢75歳を超える熟年パワーが若い議員さん達を圧倒した感がありました。立川代表の下、ピアノ伴奏と合唱指導の畑野かん奈さんの週一回の特訓が実を結んだ結果でした。

その勢いそのまま、午後には予めの計画通り養護老人ホーム「檜の里」での慰問演奏会となりました。ここでは更に気軽な曲も加え、また、田中三佐代さんの特別出演もあり、皆さんと一緒に歌うプログラムもあって、大いに喜んでもらえました。中には涙を浮かべながら歌うご老人も多く、演奏する側も感動を頂いた催しとなりました。

（報告者：田中信昭）



俳句同好会便り

河合 和郎

私の一句～12月の句会から

今月から吉田信夫さんが参加。メンバーは12人に。益々百家争鳴に。今月の兼題は「霜」。メンバーの華麗な作品をご覧ください。

霜踏みて登校の子ら半ズボン 馬場 征彦

大人が防寒コートを着込んでいるのに子供たちは元気いっぱい学校へ。ガンバレ半ズボン。

水の神立ち上がりたる霜柱 渋谷 文雄

高点句。「水の神」の神秘的な措辞が効果的。上五でこの句は決まった。佳句。

初霜や小田踏み渉る大鴉 山形 忠顕

カラスが田んぼを闊歩する様子がユーモラスに詠めた。オーバーな「踏み渉る」に俳諧性が。

霜除の笹の葉さわぐ日暮れ畑 石田 文彦

作物を守るための笹竹の葉が風に鳴っている。今夜も霜が降りそうだ。日常を淡々と。

霜枯れてなほ香を残す小菊かな 池田ときえ

高点句。きれいに詠めた。枯れ果てた小菊の風情が俳句心をくすぐる。秀句。

霜花の青く光れる夜明けかな 立川富美代

霜の花が夜明けの陽光に青く光っている。詩情豊かな光景をきれいにまとめた。

間に合へり一日違ひの霜困 田中 信昭

霜困いをした翌朝に初霜が降りた。よかったという安堵感が伝わってくる。

初霜や犬の足跡掃きし朝 飯田富美子

霜の道に残されている犬の足跡をなぞるように掃き清めている作者。日常を一句に。

ふと気づくプランターにも霜柱 東山 榮

冬場のプランターは休耕。ふと目にした霜柱に冬の朝を実感している作者の目。

霜の朝蹲踞の水手に痛し 阿部 治子

高点句。技巧を凝らさず日常を句にして共感を呼んだ。「手に痛し」に寒さの実感が。

畑の土鋭く生ゆる霜柱 吉田 信夫

初参加にして鋭い俳句的感性。これからが楽しみ。俳句を楽しんで続けましょう。

霜田に朝日きららのひかり撒く 河合 和郎

霜一面の田んぼに朝日が差す。霜が溶けるまでの一瞬間のきらめきを残して。

編集後記

新年おめでとうございます。昨年の漢字は「輪」だそうです。2月の関東ブロック交流会、2月から5月の生涯学習サロン等会員の皆様の交流の輪を！！ 情報委員会 有泉裕子